

W 学校法人 長崎学院 長崎外国語大学

ぶどうの樹

2022.6
NO. 30



写真：長崎外国語大学 さくら

INDEX

特集1：新上五島町で英語イマージョンデイキャンプを行いました
特集2：VOICE UP JAPAN 長崎外国語大学支部の活動について

5 チャペル通信

6 7 大学情報

8 同窓会報告

9 寄付事業のお礼と報告

10 2021（令和3）決算報告

新上五島町で 英語イマージョン



2021年10月30日（土）、長崎県新上五島町において、英語イマージョンデイキャンプを実施しました。

イマージョン（immersion）とは、日本語で「浸すこと」という意味を持ち、このことから「没入法」という教育手法の一種を表します。「英語イマージョンデイキャンプ」とは、その名の通り、子どもたちに英語漬けになってもらうというもので、時間中のコミュニケーションは全て英語で行ってもらい、体験に比重を置いたプログラムを消化するなかで外国文化を知り、外国語を身につけます。今回は私達が本学を出て現地に行き、プログラムを実施しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大が地域の国際化にブレーキをかけてはなりません。外国人居住者や多文化家庭の増加等、加速度的に進展する多文化共生社会の将来の担い手となる子どもたちに、早い段階から外国人との接点を持ってもらうことで、英語への抵抗感を軽減させるとともに、外国語の意思疎通の成功体験を積むことによって自己肯定感・積極性の涵養を図ります。

本事業は、本学・新上五島町・（株）十八親和銀行が2018年に締結した産学官三者包括連携協定に基づき、同町立若松中央小学校の児童の皆さんを対象に実施しました。また、本学が参画する九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォーム・地域産業活性化専門員会事業としても実施され、当日は鎮西学院大学・長崎総合科学大学の先生方にもご協力いただきました。

当日は、児童生徒等24名の参加があり、外国人教員や本学の教職課程を履修する学生4名とともに、「ハロウィンの文化理解」をテーマとした各種のアクティビティを行いました。何をやっても初めての経験だったかと思いますが、それでも子どもたちは本当に楽しそうにゲームと英語を楽しんでいました。



デイキャンプを行いました



【アクティビティの例】

- アイスブレイク：「Make a line. (一列になって)」、「Make a circle. (輪になって)」等の指示の通りにみんなで体を動かす
- ハロウィンの風俗・文化についての英語での説明：英語理解を促進するため適宜カード等を使用
- 英語での自己紹介：「My name is…」 「Do you like…?」といったフレーズを、風船バレーボールをしながら発声する
- 英語で指示されたカードを、ゴム製マジックハンドを用いて素早く取るゲーム
- クイックドロー：ハロウィンのキャラクターが描かれたカード1枚を一斉に出し、自分が出したカードの図柄を英語で早く言うのを競うゲーム

デイキャンプは午前10時から始まり、昼食を挟んで午後2時30分まで行われました。子どもには或いは長丁場だったかもしれませんが、参加者の皆さんは集中力を切らすことなく、英語を用いた外国人との触れ合いに積極的に取り組んでくれました。

最後はハロウィンの習俗にちなみ、「Trick or Treat! (お菓子をくれなきゃイタズラするぞ)」を行い、子どもたちにお土産のお菓子が配布され、成功裏にプログラムを終了することができました。私達も楽しいひと時を過ごすことができました。



ご協力いただきました新上五島町、同町立若松中央小学校、若松緑の少年団の皆様方をはじめ関係各位に厚く御礼申し上げます。

文責：現代英語学科/教授 藤内則光

Voice Up Japan 長崎外国語大学支部を紹介します



一般社団法人 Voice Up Japanは、ジェンダー、セクシュアリティ、人種、国籍、信じる宗教に関係なく誰もが公平な権利をもち、そして誰もが声を上げやすい社会を作ることをビジョンとして活動している団体です。全国28以上の学生支部の一つである長崎外国語大学支部は昨年の7月からスタートしました。(文中はVoice Up JapanをVUJ、長崎外国語大学支部をNUFS支部と表示)

◆始めたきっかけ

新田

ハーフだからという理由で「ハーフだから英語喋れるでしょ」と言われたり、女性の友達と遊んでいるだけで「おかま」と言われたり、自分がマイノリティであることを自覚せざるを得ない日本社会の差別や偏見に悩み苦しみ続けていました。こうした自分の経験から社会問題には昔から興味があり、情報収集の媒体としてVUJを見ていたところ、学生支部立ち上げの募集があり、私がNUFS支部を立ち上げようと決めました。

峯

過去の海外経験の中で海外と日本のギャップを感じました。例えば、日本では社会問題や環境問題など身近な自分のもやもやを話す機会が少ないと思います。VUJを通して、そういう話を気軽にできる空間・環境づくりをしていきたいと思いました。

木下

高校2年生のノルウェー留学の際にクラスの半分が黒人の方だったり、性的マイノリティの方がいたり、カルチャーショックを受けたことがきっかけです。当時、黒人の友人から未だに黒人差別などがあるという話を聞きました。日本に帰国後、海外と比べて社会問題に関する教育など学べる場所が少ないと思い、学べる場を作っていきたいと思い参加しました。

吉川

私自身、以前から社会問題について興味を持っていました。しかし、話を聞く機会が少ないため自分で調べたりしていました。勉強会などで自分が興味を持っていることなど知識を増やすことができるためVUJに入りました。

◆主な活動内容

- ・Instagramでの情報発信:あらゆる社会問題について、リサーチからデザインまでをメンバーで行い、分かりやすく伝える情報発信を心がけています。
- ・勉強会の実施:無知ほど怖いことはありません。昨年の世界エイズデー(毎年12月1日)の際には、グループに分かれて情報収集をしてプレゼン形式で発表し合い、みんなでの知識量を合わせた上でInstagramにて情報発信を行いました。
- ・映画祭:LGBTQ+関連の映画を上映し、映画を通して学び、より身近に感じてもらうことを目的としています。
- ・セーフスペース:テーマなどは絞らずに、学業・恋愛・将来のことなどモヤモヤを自由に共有して一人ひとりが安全を感じるができる空間を設けています。

◆これまでのプロジェクト内容

- ・性的マイノリティについて発信する「Take it! 虹」との交流
- ・長崎性教育コミュニティー「アスター」との交流
- ・長崎市発行の情報誌「yoriyori vol.5」にて掲載
- ・学内でのコンドームの無料配布
- ・長崎知事選時に公開質問状の提出
- ・ウクライナ軍事侵攻のデモ参加

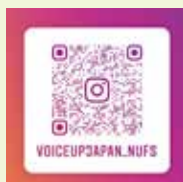
新メンバー募集中!!

◆応募条件

- ・長崎外国語大学在学中の学生
 - ・社会問題に興味があり、問題解決に貢献していきたい方
 - ・週5時間以上コミットできる方
- お問い合わせはこちら:
nufs.voiceupjapan@gmail.com



申し込みフォーム



インスタもcheck!

◆VUJを通して今後どんな活動をしていきたいか

- 吉川: NUFS支部をもっと知ってほしいと思います。個人がしっかり胸をはれる場所を学内で作ってほしいです。
- 峯: 始めたきっかけである「内に秘めたことを気軽に話すことができる環境」を作ってほしいです。
- 木下: まずは学内から一人でも多くの人に知ってもらい、悩んでいる方の助けになりたいと思います。どんどん人の輪が広がるようにこれからも発信していきたいです。
- 新田: 正しい知識や情報は他人だけでなく、自分自身を守ってくれます。みんなが学ぶことをやめず、みんなが生きやすい社会を目指して声を上げ続けます。



長崎の広報誌「yori yori」に掲載されました!



現代英語学科4年

吉川裕美、峯小夏、新田賢二、木下微那

文責: キャリア支援課 太田 愛理



こんどう 近藤カナさんの思い出

理事 **はるみ 春海** **けんいち 賢一**

「隣人を自分のように愛しなさい。」(マタイによる福音書22章39節)

私がキリスト教に関心を持ったのは中学卒業の頃です。「密林の聖者」と言われ、『生命への畏敬』を著したシュバイツァー博士の働きを知ってからでした。医師・神学者・音楽家等多彩な活動をしていた彼が、ヨーロッパからアフリカの密林地帯へ移住し、生涯を医療活動に捧げる奉仕の精神は何処から来るのだろうか、彼の著書をはじめ、関係する本などを読みあさりしました。さらに日本の内村鑑三うちむらかんぞうがその活動に呼応し、支援していた事を知ったのもその頃でした。そしてアフリカの地に眠るシュバイツァーの働きで目覚め、近藤カナさんという方の隣人を尊ぶ愛の奉仕にふれ、出会いから4か月後の23歳の時にクリスチャンとなりました。

80歳を迎えた近藤カナさんと出会ったのは、福江市(現・五島市)の職場に赴任した半世紀前の事です。職場の近くに教会が建てられ、2日間の記念講演会が開かれたのです。講師は西南学院のE・B・ドージャー院長ほかでした。講演終了後、クリスチャンであるカナさんと出会ったのです。講演の記憶を辿る事は無理ですが、カナさんに握手を求められた事、10km以上先の隣接の富江町とみえちやう(現・五島市)から来た事、家の近くに歴史ある唯一のプロテスタント教会がある事、その教会に土地を寄付した事など語ってくれました。地元の方言で語る会話は何かと温かく、カナさんに魅せられた事を記憶しております。

11人家族のカナさんは小学校にも行けない環境で育ったのですが、30歳を過ぎてから大きな転機が訪れました。アメリカ滞在33年(その後半はレストラン経営)で、その後故郷富江町そのじに帰ってきた近藤其次さんとの結婚です。敬虔なクリスチャンだった其次さんとの結婚は、カナさんにとっては最大の転機で、恵みでもありました。カナさんは文字を覚え、聖書に学ぶことの大切さを、徹底して其次さんから学んだのです。そして豊かな夫婦愛の中で、カナさんは多くの聖書の箇所を暗唱するようになりました。例えばイザヤ書53章、詩編23篇、マタイによる福音書5～7章(山上の説教)、ヨハネによる福音書14章(6節は長崎外大のスクールモットー)、ローマの信徒への手紙5、8、12章、コリント人への第一の手紙13章やその他数多くの単節の暗唱聖句があり、そらんじた聖句を朗唱すると40分もかかったそうです。



(近藤カナ氏)

その後島原に転勤するまでの4年間に、家族で往来するなど親しくなりました。カナさんの生きざまは鮮明に心に残っています。隣人愛に生きるカナさんに感銘を覚え、以前無料で取り寄せた聖書を意識して再読するようになりました。今思えば、カナさんとの出会いとその豊かさの中で、キリストの愛に生きたシュバイツァーの人生を、改めて深く理解する事が出来たのです。

私は家の書齋に今も師とし仰ぐ5人(シュバイツァー・内村鑑三・近藤カナ・キング牧師・マザーテレサ)の写真を掲げています。カナさんの人生から学ぶ事は多々ですが、改めてその豊かさ励ましを受けているのです。

(2021年5月19日 チャペルアワー奨励より)

第14回英語ポキャブラリーコンテスト（オンライン）を開催しました

2021年12月11日（土）に第14回英語ポキャブラリーコンテスト（オンライン）を開催しました。

このコンテストは、高校生を対象とした語彙力を競う大会で、2名1チーム（対面時は3人1チーム）で、本学外国人教員が読み上げる英語の定義文を聴き、正解の単語を解答して得点を競います。コロナ禍ということもあって、2020年の第13回大会に引き続き、昨年の第14回大会も本学M204スタジオからWeb会議サービス「Zoom」を利用したオンライン開催となりました。

当初予定していた参加数を上回る21校（チーム）の参加があり、そのうち半数の10校が初参加！また、参加校の中には本学卒業生が英語教員として勤務する高校であったり、当日の司会を担当してくれた本学学生の母校の参加であったりと、たくさんのご縁が繋がった嬉しい大会となりました。

オンライン開催という画面越しでのコンテストではありましたが、離島や県外からの参加がしやすくなり、次回大会もオンラインであればぜひ参加したいという声が聞かれました。これもコロナ禍による新しいコンテストの形として、今後は定着していくのかもしれませんが。

長崎外国語大学は、このコンテストを通して、高校生の皆さんの英語学習の後押しができればと願っています。



優勝：福岡雙葉高校 準優勝：精道三川台高校

参加校：

（福岡県）朝倉高校・鞍手高校・中村学園女子高校・福岡女子高校・福岡雙葉高校・八幡高校（長崎県）
 壱岐高校・諫早商業高校・活水高校・口加高校・佐世保高専・精道三川台高校・対馬高校・長崎南山高校・
 長崎北陽台高校（熊本県）熊本西高校・八代白百合学園高校（宮崎県）日向高校（鹿児島県）鹿児島情報
 報高校・鹿児島水産高校・志布志高校

（文責：社会連携センター事務局）

新しく「長崎外国語大学長賞」を表彰しました

長崎市内の小学生を対象に長崎学の自由研究を表彰する「長崎学児童研究コンクール」（主催：長崎市長崎学研究所）への協力の一環として、本学では新たに「長崎外国語大学長賞」を設けました。

記念すべき初の受賞者は、上長崎小学校3年生の湯岡龍世さんによる「長崎市のきゃあまぐるスポットレビュー」が選ばれました。3年もの歳月を費やして長崎市内の神社を巡り、歴史やご利益などを丹念に調べた力作です。

作品の一次選考にはGaidaiプロジェクトの一つ「長崎の歴史・文化魅力発見プロジェクト」のメンバーも参加しました。300点を超える力作を前にして、学生たちは真剣に選考に臨んでいました。



『新長崎学研究センター紀要』を創刊しました

新長崎学研究センターでは3月にこれまでの新長崎学に関する研究成果を掲載した『新長崎学研究センター紀要』を創刊しました。

創刊号ではセンター構成員による学術論文や研究ノートのほか、創業者・青山武雄先生の生涯を年譜形式で紹介した青山愷氏による「年譜 青山武雄」、本学とゆかりの深いプロテスタント宣教師・フルベッキ博士の事績を取り上げた中島耕二氏による講演録「フルベッキ博士の生涯と日本の近代化」など、貴重な研究成果が揃っています。

本学ライブラリーやリポジトリをはじめ、県内の主要な大学・公立図書館などで閲覧が可能です。



2021年度第3回公開講座（シンポジウム）を開催しました

11月20日（土）本学211教室において、今年度第3回目の公開講座（シンポジウム）を開催いたしました。

「SDGsの達成に向けた、教育、行政、企業の取り組み」をテーマに、行政、企業、大学における取り組みについての事例報告がなされ、大学における取り組みの中では、本学学生が「フェアトレードからみるSDGs」として学生プロジェクトにおける活動報告をおこないました。（文責：社会連携センター事務局）

<講演内容>

「本学における教育・サークル・研究における取り組み」
 小島居 伸介（長崎外国語大学 教授）
 「地域の会社だからできるSDGsによる価値創造：九州教具の取り組み」
 船橋 修一氏（九州教具株式会社 代表取締役社長）
 「SDGsに向けての独り相撲？悪あがき？：地球温暖化対策の取り組み」
 早瀬 隆司氏（サステナプラザながさき 事務長）



共栄セキュリティサービス株式会社様からの寄付金贈呈式を行いました

本学が昨年の東京五輪・パラ五輪に学生の通訳ボランティアを派遣したことを受け、ボランティアの受け入れ先となった共栄セキュリティサービス株式会社様よりこのたび学校法人長崎学院に対して寄付金が贈呈され、2月28日（月）に贈呈式を行いました。

本学では同大会に13名の学生を通訳ボランティアとして派遣し、共栄セキュリティサービス株式会社様にはこのうち10名を受け入れていただきました。式は新型コロナウイルス感染症対策のためオンラインで実施し、同社代表取締役社長 我妻文男様より、期間中の学生の働きぶりに対してお褒めの言葉を頂戴しました。

いただいた寄付金は、学内の教育研究環境の充実のため、大切に使用させていただきます。（文責：総務課 松尾 博則）



2022年度新任教員紹介



4月に鹿児島より赴任いたしました。本年度は、英語、英語文学、英語翻訳などの授業科目を担当しております。まだ授業が始まったばかりですが、さっそく数名の学生が質問や相談のために研究室を訪ねてくれました。熱心な学生たちを相手に授業をすることができ、大変嬉しく感じています。

また研究においては19世紀アメリカ文学を専門分野としています。特に今年度からは「19世紀アメリカにおける可傷性の文学的表象」という研究プロジェクトの代表者を務めております。今後4年間にわたって、国内外の研究者と共同研究を進めてまいります。

国際色豊かな長崎外国語大学の一員に加えていただき、大変光栄です。どうぞよろしくお願いいたします。

生田 和也

外国語学部現代英語学科/准教授



I am delighted to be joining Nagasaki University of Foreign Studies as an English instructor this year. I've previously worked in Fukuoka, Kyoto, Osaka, Nagoya, and Tokushima at a variety of educational institutions but certainly none are as picturesque as this wonderful university. I have studied Graphic Design at the University of North Dakota and received my Master's degree in TESOL (Teaching English to Speakers of Other Languages) from the University of Birmingham. I'm keenly interested in how these two disciplines intersect and hope to explore how images can be used for pedagogic purposes through practical application in the classroom as well as through formal research. I very much look forward to getting to know all of you. どうぞよろしくお願いいたします。

ラース・マーティンソン

外国語学部現代英語学科/特別任用講師



In between leaving Nagasaki University of Foreign studies as a JASIN student in 2016 and coming back as a teacher in 2022 a lot has happened. I graduated from the University of Central Lancashire with a bachelor's in TESOL and Japanese, earned my master's in TESOL from the University of Stirling and have spent the last seven years teaching English throughout the UK. I'm absolutely thrilled to be back in Nagasaki and working with the Department of Modern English and am looking forward to getting to know you all! よろしく願いいたします。

マックス・ブルックス

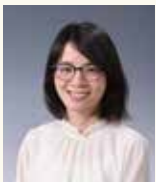
外国語学部現代英語学科/特別任用講師



アンニョンハセヨ！この度特別任用講師として着任いたしました、朴庚卿（パクユギョン）と申します。言葉の使い方を含め、日本と韓国の価値観など文化の相違に強く興味を持ち、研究・教育活動を行ってきました。今までの経験を活かし、言語教育はもちろん、韓国語を勉強しながら出会うことになる様々な「韓国」を先入観なく受け入れ、韓国語話者とのより自然なコミュニケーションに活かすことができよう、少しでもお役に立てたらと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。

朴庚卿（パク・ユギョン）

外国語学部国際コミュニケーション学科/特別任用講師



今年4月に特任講師として着任しました、呉青青と申します。学生の頃に外国語大学への入学を志望していましたが、今は教員として外国語大学に関われることを嬉しく思っております。

私は言語学習の愛好家です。学生たちが言語学習上で直面する苦闘を理解するために、今は週に3回のオンライン英会話レッスンを受けています。今年は、まだ触れたことがないスペイン語も学んでみようと思っています。教育に携る上で、私は【主体的・協働的な学び】×【Practice・Practice・Practice】×【楽しさ】×【ICT】の授業づくりを追求しています。長崎外大の学生たちが楽しく有意義に中国語を学べるよう、最大限のサポートをして参りたいと思っています。今後何卒宜しくお願い致します。

呉青青

外国語学部国際コミュニケーション学科/特別任用講師



4月より、学生支援課に配属となりました濱田です。11年前に、本学で語学を学んだ卒業生ではありますが、学生支援課の一員としては初めてのことばかりで、2年生以上の皆さん、特に学友会のメンバーや、サークル活動をされる皆さんとは、集まり等で接する機会もあることから逆に学ぶことも多々あるかと思えます。

学生支援課の窓口では、奨学金やその他不安や疑問を持って来られる学生の皆さんにとって、安心して相談できる存在になればと思っています。

少しの間だけアンペロス寮での業務にも携わっておりましたので、新1年生とは入寮のタイミング等で面識もありませんが、寮に関することでも構いません、気軽にお声かけ頂ければと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

濱田 利奈

学生支援課/職員

● 同窓会だより ●

国内外での出会いを大切に！ チャレンジし続けることに価値がある。

長崎外国語大学 国際コミュニケーション学科 英語アメリカ文化コース
2006年卒業 日高 孝典



私は、長崎外国語大学では英語を専攻していました。在学中はまったく中国語に興味がありませんでしたが、中国語専攻の友達の影響で卒業後、中国（北京）の首都師範大学に留学をしました。北京での話は、思い出がありすぎて長くなるので割愛させていただきますが、本当に良い仲間と出会うことができ、今でも連絡を取り合ったり、時にはビジネスパートナーとしても大切な存在となっています。帰国後は、学生のときにイベント会社でアルバイトをしまして、そこで広告代理店とのつながりができ、広告代理店に就職しました。10年間広告代理店で勤務し、各メディアやPR方法を学ぶことができました。そこでも色々な人と出会うことができました。

現在は、2020年に「株式会社コネコネ（ConeCone）」という会社を設立し、お客様のために、アイデアを練ってソリューションしていく企業、企業（クライアント）とお客様（消費者）をコネクト（つなげる）する企業として、広告代理店で培った経験から、マス広告はもちろん、WEBやSNSを使ったPR・集客をご提案させていただいています。その他にも、印刷物、動画撮影、ホームページ制作、イベントなども行っています。仕事では、お客様はもちろん、デザイナー、プランナー、コピーライター、イベントなど色々な人とかわることができます。そこでも出会いを大切にすることが活かされていると感じています。

また、もう一つの事業として、日本にまだ無いものを取り入れ、SDGsを取り入れた事業展開ということで、ヨーロッパで人気が高まっているポーランド発のナチュラルケアブランド「YOPE（ヨーブ）」の日本1号店を2020年7月に長崎市（浜町）にオープンさせました。「YOPE」（ヨーブ）は、ハンドソープやハンドクリーム、シャンプー、食器・バス・フローリング洗剤などがあり、すべて天然由来成分90%以上で肌に優しく子どもから大人まで安心して使用できます。人や動物、環境にやさしく、毎日が楽しくなるようデザインと香りも特徴的なブランドです。卸しもやっているので、ホテルや雑貨店にも販売していただいております。

ポーランドのスタッフと関われることも嬉しいですが、やはり、もっと嬉しいのが大学の同級生や先輩、教職員の方々がお店に来ていただき応援していただけることです！

ご来店の際に「長崎外国語大学」とスタッフに言っていただければ、何かサービスがあるかも！
是非、遊びに来て下さい！

今まで著名人や成功されている方など色々な人と関わらせていただきましたが、皆さん出会いを大切にされているし、行動力がものすごいです！新しいことにチャレンジし苦しいこともやり続ければ、必ず価値があると思います。

在学生の皆さん！
大学で仲間をつくり、留学して、海外でもいろんな仲間をつくってください！
OB・OGの皆さん！
是非、「コネコネ（ConeCone）」とビジネスさせてください！



同窓会よりお知らせ

新副会長のご紹介

昨年（2021年9月16日木曜日）に開催されました代議員会で、長い間務めて下さった副会長の中原裕子氏が都合により辞職されました。

後任には、秋山将吾氏（長崎外国語大学 国際コミュニケーション学科 英語アメリカ文化コース 2007年卒業）

が、満場一致で決まりましたことをご報告致します。

秋山氏の留学経験と職歴などを生かしつつ、専門学校や短期大学卒業生の代議員と4年制大学の新卒代議員と一丸となって同窓会の発展に尽くして下さることを期待します。

教育研究の整備に関わる寄付事業のお礼と報告

平成27年4月から開始いたしました「教育研究の整備に関わる寄付事業」は令和4年3月末現在で863件、40,084,000円（内、令和3年10月1日～令和4年3月31日：32件、652,000円）のご寄付を賜り、ご支援をいただきました同窓会、保護者会、取引先、在学生保護者を始めとした多くの皆さまに深く感謝申し上げます。

なお、皆様から賜りました寄付の内から3,000,000円を令和3年度下期に教育環境整備の一環として実施いたしましたキャンパスネットワーク事業に係るICT強化費用の一部に充当させていただきました。

皆様の温かいご支援にお応えすべく、教育環境の整備のために鋭意努力をして参る所存でございますので、今後とも本事業の趣旨にご理解とご協力をお願い申し上げます。

寄付者ご芳名一覧 令和3年10月～令和4年3月ご寄付分 たくさんの温かいご支援ありがとうございました

(敬称略)

個人の部

秋山 直明	川原 仁幸	田中 希美	平田 康子	松本 道子
安藤 伸吉	黒田 雅美	原田 澄	藤河 摩知子	森脇 浩
石井 薫	小道 隆	原野 浩二	前田 英輝	山口 彰子
一宮 啓祥	佐藤 辰巳	春海 賢一	松尾 博則	山下 信輔

法人の部

石田コピーセンター 株式会社 共栄セキュリティーサービス 株式会社 DEITz 株式会社

新長崎学研究に関わる寄付事業のお礼と報告

平成28年4月から開始いたしました「新長崎学研究に関わる寄付事業」は令和4年3月末現在で263件、12,798,000円（内、令和3年10月1日～令和4年3月31日：20件、204,000円）のご寄付を賜り、ご支援をいただきました多くの皆さまに深く感謝申し上げます。

なお、皆様から賜りました寄付の内から1,500,000円を令和3年度下期に新長崎学研究に係る貴重図書および研究資料等の購入費用の一部に充当させていただきました。

今後ともグローバル人材の育成という本事業の趣旨にご理解とご協力をお願い申し上げます。



寄付者ご芳名一覧 令和3年10月～令和4年3月ご寄付分 たくさんの温かいご支援ありがとうございました

(敬称略)

個人の部

秋山 直明	川原 仁幸	田中 希美	姫野 順一	山下 信輔
粟屋 曠	岸川 善彦	出口 すゞ美	藤河 摩知子	
岩田 耕作	佐藤 辰巳	春海 賢一	前田 裕一郎	

法人の部

石田コピーセンター 株式会社 DEITz 株式会社

寄付に係る税金（所得税・住民税）の優遇制度について

寄付をされると次の要領で税金が戻ってきます。詳しくは、法人事務局財務課までお問い合わせください。

個人 寄付金が2千円を超える場合は、超えた金額に40%を乗じた金額が税額控除されます。【(注)：寄付金額は年間総所得金額の40%、税額控除は所得税額の25%がそれぞれ限度額となります。】

地方自治体が条例指定している場合は住民税についても寄付金控除が適用されます。

※各自治体の条例指定の有無につきましては、各自治体によって異なりますので、ホームページ等でご確認くださいるか、直接自治体へお問い合わせください。

法人 受配者指定寄付金によって、日本私立学校振興・共済事業団を通じて寄付していただきますと、法人税法上、その寄付金を全額損金へ算入できます。【寄付に必要な事前の手続きをご説明いたしますので、ご寄付の際は大学にお申し出ください。】

ご寄付のお申し込みについて

お電話またはメールで、ご住所、お名前をお知らせください。
法人事務局よりご説明および必要書類をお送りいたします。

お問合わせ先

学校法人長崎学院 長崎外国語大学 法人事務局 財務課 (担当：森脇・前田)
Tel 095-840-2003 (法人財務課直通) Email keiri@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

学校法人 長崎学院 2021（令和3）年度決算報告

学校法人長崎学院は「長崎外大ビジョン2030」に沿って財務基盤の確立および財務体質の強化に努めています。大学の収入の源泉は「学生生徒等納付金」「補助金」「寄付金」「付随事業収入」「その他」の5つに大別されます。なかでも「学生生徒等納付金」が収入の柱となっており、2021年度は事業活動収入の63.9%を占めています。

【事業活動収支計算書 収入の部】

学生生徒等納付金は前年度比8,044万円の減収（前年度比△9.7%）となりました。令和2年度に引き続き、コロナ禍による外国人留学生の受入が減少したことが大きな要因です。また、1年次入学生数（5月1日付）は153名（前年比56名減、入学定員170名、入学定員充足率90%）、総在籍者数（5月1日付）は773名（前年比65名減、収容定員740名、収容定員充足率104.5%）となり、収容定員は充足しましたが入学定員は5年ぶりに未充足となりました。

補助金収入においては、前年度比1,986万円の増収（前年度比+8.9%）となりましたが、このうち1,041万円は修学支援法による授業料減免交付金の増加分であり、実質的には945万円の増収となりました。

付随事業収入は前年度比3,327万円の減収（前年度比△20.9%）となりましたが、これは収入の大半を占めるアンペロス寮の減収（前年度比3,561万円減）によるものです。令和2年度から引き続き、コロナ禍による外国人留学生の受入が減少し、加えて令和3年度の入学者定員が未充足となったことで入寮者数が減少しました。

その他のうち雑収入は、前年度比6,576万円の減収（前年度比△78.0%）となりましたが、これは令和2年度末と比較し令和3年度末の定年退職者が減少したことで、退職金財団からの交付金受入が前年度比7,310万円減少したことによるものです。

【事業活動収支計算書 支出の部】

人件費は前年度比1億22万円の減少（前年度比△15.6%）となりました。このうち7,753万円は令和2年度末と比較して令和3年度末の定年退職者が減少したことに伴い、退職給与引当金繰入が発生しなかったことによるものです。

教育研究経費は前年度比2,276万円の減少（前年度比△7.2%）となりました。外国人留学生の入学減少に伴い奨学金が減少（前年度比△1,500万円）したこと、令和2年度には遠隔授業実施による学生への支援金811万円を支給したことが主な要因です。管理経費は経費執行の適正化に努め前年度比399万円の減少（前年度比△2%）となりました。

資産処分差額は前年度比7,663万円の減少（前年度比△98.5%）となりましたが、これは令和2年決算においてに一過性の特別損失7,724万円（急傾斜地区の長崎県への無償譲渡）を計上していることによるものです。

以上の結果、令和3年度の基本金組入前当年度収支差額は1億1,543万円となり、前年度比5,685万円の増収（前年度比+97.0%）となりました。ただし令和2年度決算には特別損失（急傾斜地区の長崎県への無償譲渡7,724万円）が含まれており、これを除外した実質的な基本金組入前当年度収支差額は、前年度比2,038万円の減収（前年度比△15.0%）となりました。なお、基本金組入前当年度収支差額は、平成27年度以降、7年連続の収入超過となっています。

翌年度繰越支払資金は、収入が全体的に減収となったものの支出も同程度の割合で減少し、前年度比2,157万円増（前年度比+7.1%）となりました。

事業活動収支計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：千円)

科 目		令和2年度	令和3年度	差 異
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	826,291	745,849	△ 80,442
	手数料	9,626	7,408	△ 2,218
	寄付金	2,046	3,152	1,106
	経常費等補助金	222,464	242,319	19,855
	国庫補助金	222,294	241,948	19,654
	地方公共団体補助金	170	371	201
	付随事業収入	159,539	126,270	△ 33,269
	雑収入	84,340	18,576	△ 65,764
	教育活動収入計	1,304,306	1,143,574	△ 160,731
	事業活動支出の部	人件費	641,890	541,670
教育研究経費		314,957	292,196	△ 22,761
管理経費		203,278	199,289	△ 3,989
徴収不能額等		134	0	△ 134
教育活動支出計		1,160,258	1,033,155	△ 127,103
教育活動収支差額	144,047	110,419	△ 33,628	

科 目		令和2年度	令和3年度	差 異
教育活動外収入の部	受取利息・配当金	43	2	△ 40
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	43	2	△ 40
教育活動外支出の部	借入金等利息	19,340	16,496	△ 2,844
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	19,340	16,496	△ 2,844
教育活動外収支差額	△ 19,297	△ 16,494	2,803	
経常収支差額	124,750	93,926	△ 30,825	

科 目		令和2年度	令和3年度	差 異
特別収入の部	資産売却差額	0	517	517
	その他の特別収入	11,839	22,469	10,629
	特別収入計	11,839	22,985	11,146
特別支出の部	資産処分差額	77,826	1,196	△ 76,630
	その他の特別支出	180	283	103
	特別支出計	78,006	1,479	△ 76,527
特別収支差額	△ 66,166	21,507	87,673	
予備費	—	—	0	
基本金組入前当年度収支差額	58,584	115,433	56,849	
基本金組入額合計	△ 40,689	△ 138,000	△ 97,311	
当年度収支差額	17,895	△ 22,567	△ 40,463	
前年度繰越収支差額	△ 2,933,277	△ 2,915,382	17,895	
基本金取崩額	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	△ 2,915,382	△ 2,937,949	△ 22,567	

(参考)

事業活動収入計	1,316,188	1,166,562	△ 149,626
事業活動支出計	1,257,604	1,051,129	△ 206,475

貸借対照表

(単位：千円)

令和4年3月31日

(単位：千円)

資産の部			
科 目	令和2年度	令和3年度	差 異
固定資産	5,424,340	5,358,675	△ 65,665
有形固定資産	5,304,620	5,242,551	△ 62,069
土地	3,183,999	3,183,999	0
建物	1,687,710	1,607,085	△ 80,625
その他の有形固定資産	432,911	451,467	18,556
特定資産	100,000	100,000	0
その他の固定資産	19,720	16,123	△ 3,596
流動資産	396,562	339,564	△ 56,999
現金預金	303,953	325,521	21,568
その他の流動資産	92,609	14,043	△ 78,567
資産の部合計	5,820,902	5,698,238	△ 122,664

負債の部			
科 目	令和2年度	令和3年度	差 異
固定負債	1,098,686	938,205	△ 160,481
長期借入金	845,531	691,243	△ 154,288
その他の固定負債	253,155	246,962	△ 6,193
流動負債	519,746	442,130	△ 77,615
短期借入金	228,147	154,288	△ 73,859
その他の流動負債	291,598	287,842	△ 3,756
負債の部合計	1,618,432	1,380,336	△ 238,096

純資産の部			
科 目	令和2年度	令和3年度	差 異
基本金	7,117,852	7,255,852	138,000
第1号基本金	7,038,852	7,176,852	138,000
第4号基本金	79,000	79,000	0
繰越収支差額	△ 2,915,382	△ 2,937,949	△ 22,567
翌年度繰越収支差額	△ 2,915,382	△ 2,937,949	△ 22,567
純資産の部合計	4,202,470	4,317,903	115,433
負債及び純資産の部合計	5,820,902	5,698,238	△ 122,664

※その他の計算書類は本学HPに公開しています。



バルーンリリース

2021年度卒業式が挙行され、144人の卒業生が学び舎を巣立ちました。朝から降り続いていた雨も式後に上がり、『祝い餅つき芸』の披露と、2000個のバルーンを空に放つ卒業イベントを、春風が吹く中で行いました。卒業生の門出を祝し、卒業生の皆さんが餅のように社会で粘り強く努力し、風船のように世界中を飛び回り活躍されることを願っています。

文責：学生支援課 大土橋 直紀

長崎外大 2022年度 年間スケジュール

今年も本学では以下のイベントを予定しています。

春	4月1日	2022年度春季入学式
	5月21日	スポーツ大会
	5月22日	長崎外国語大学保護者会定期総会(中止)
夏	7月17日	オープンキャンパス
	7月20日	留学許可書授与式
	8月6日・20日	オープンキャンパス
秋	8月11日～9月14日	夏季休暇(夏休み)
	9月20日	秋季入学式
	9月22日	秋季卒業式
	10月16日・23日	長崎外国語大学地区別保護者懇談会(長崎・遠隔)
冬	10月29日・30日	第70回外語祭
	12月1日	創立記念礼拝
	12月10日	英語ボキャブラリーコンテスト
	12月21日	全学クリスマス礼拝
	2月11日～3月31日	春季休暇(春休み)
	3月5日	保護者対象留学事前説明会
	3月17日	2022年度春季卒業式・卒業パーティ
3月25日	春のオープンキャンパス	

※既に実施済のものを含みます。予定は諸事情により変更されることがあります。